

1 日時 平成30年10月19日(金) 5校時

2 学年 第3学年 7名

3 単元名 食べ物はかせはだれだ?!

「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」

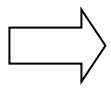
4 単元について

- 本教材は、大豆をおいしく食べるための工夫を5つの例で説明している文章である。解説されている大豆やその加工食品は、児童にとって身近なものである。しかし、大豆の加工食品は、見ただけでは原料が大豆とは分からないものも多く、児童にとっては新鮮な驚きをもらす教材である。自分の食生活や日本の食文化を見つめ直すことにもつながり、食育という観点からも貴重な題材であると考えられる。

また、言語活動に関わっても良質な教材である。「すがたをかえる大豆」は、児童が繰り返し学んできた「はじめ」「中」「終わり」の組み立てで書かれている。また、「中」の段落は書き方のパターンが似ており、各段落の最初の文が説明の中心となる文になっている。このため、説明の中心となる文を捉えることで、段落相互の関係を捉えやすい。さらに、「いちばん分かりやすいのは」「さらに」などの言葉を細かく読み取ることで、事例が提示される順番にも、作者の意図があることを読み取ることができる。なお、文章以外にも写真と文章を対応させている点も、読者に内容を分かり易く伝えるための工夫と言える。文章のつながりに気を付けて内容を読み取ると共に、読者に分かり易く説明する順序や効果についても読み取ることで、書く活動や、3学期以降の説明文の学習につながっていく教材であると考えられる。

児童の実態・課題

- 「はじめ」「中」「終わり」を意識して読み書きすることができる。
- 課題意識をもって学習に取り組み、一人一人が自分の考えを書いたり、まとめたりすることができるようになってきているが個人差がある。
- 視点を明確にしておけば、友達の考えを聞き、自分の考えと比べようとする児童が増えてきた。
- 段落相互の関係を意識して読み書きすることは十分でない。



めざす児童像

- 既習事項とつなげて、学習課題を見つけ、意欲的に課題に取り組む児童。
- 課題意識をもち、一人一人が自分の答えを求めて、主体的に読んだり、まとめたりできる児童。
- 自分の考えと、友達の考えを比べあって聞き、共に学習を深め合うことができる児童。
- 説明の中心となる文に着目し、段落相互の関係を捉えて読み書きできる児童。

本単元で育てたい資質・能力

①課題発見・解決力	○
②表現力	◎
③コミュニケーション能力	
④チャレンジ精神	○
⑤自らへの自信	



## 手立て

- 単元の学習に入る前にチャレンジタイムを通して、1年生で学習した「くちばし」を例に、「問い」と「答え」について想起させる。また、3年生1学期に学習した「こまを楽しむ」を振り返り、説明文が「はじめ」「中」「終わり」で組み立てられていることと、「はじめ」に「問い」、「中」に問いに対する「答え」、「終わり」に全体のまとめが書かれていたことを復習しておく。
- リード文に着目させ、説明の工夫について話し合うために、「それぞれの段落で何を、どのように説明しているか。」について考える教材であるという見通しを持たせる。
- 読みに入る前に、題名について「すがたをかえるとはどういうことか。」を児童に問い、どのように大豆が姿を変えているのかが説明されているのだ、という見通しを持たせる。
- 第1次より、次單元「食べ物のひみつを教えます」までを一つの單元として組み込むことで、「自分で食べ物のひみつを説明する文を書くために分かりやすい構成や書き方を読み取る。」という課題意識を持った学習に繋げる。また、書いたものを2年生に対して紹介する場を設定し、相手意識や目的意識を持たせる。
- 第1次のうちに、家庭での経験に差があることから、「炒る」「煮る」「ひく」といった動詞がイメージできるよう、映像や実演によって視覚的に理解させる。
- 第2次では、「中」では具体的例として「おいしく食べる工夫」と「食品」が示されていることに着目できるよう、「はじめ」に書かれていない「隠れた問い」を考えさせた上で、「中」を読んでいく。
- 「いちばんわかりやすいのは」「次に」などの言葉や各段落の詳細から、事例が提示されている順番にも筆者の意図が込められていることを考えさせる。
- 第3次では、1つの食材が3つ以上の「食品」に姿を変えるものが選べるよう、さまざまな図書資料を第1次の段階から用意し、教室内に展示しておく。

## 使わせたい用語

「段落」「はじめ」「中」「終わり」「問い」「答え」

「いちばんわかりやすいのは」「次に」「また」「さらに」「これらのほかに」「このように」

## 5 単元の目標

- ・中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。 【読むこと(1)イ】
- ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。 【読むこと(1)エ】
- ・内容の中心が伝わるように音読できる。 【読むこと(1)ア】
- ・目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書くことができる。 【書くこと(1)イ】
- ・「初め」「中」「終わり」の構成を意識し、「中」の事例を絵と組み合わせながら段落に分けて書くことができる。 【書くこと(1)ウ】
- ・文中の語句について、国語辞典を利用して調べることができる。 【伝国(1)イ(カ)】

6 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読むこと	書くこと	伝国
内容に関心をもち、調べて分かったことを説明しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。</li> <li>内容を大きくまとめたり、必要ところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書くことができる。</li> <li>「初め」「中」「終わり」の構成を意識し、「中」の事例を絵と組み合わせながら段落に分けて書くことができる。</li> </ul>	意味の分からない語句について、国語辞典を使って調べている。

7 指導と評価の計画（全12時間）

次	時	学習活動	評価					評価方法
			関・意	読む	書く	伝国	評価規準	
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>題名読みをする。</li> <li>「食べ物のひみつを教えます」までを読み、見通しをもつ。</li> <li>学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>チャレンジ精神</b></p>	◎			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>「すがたをかえる大豆」の意味について考えようとしている。</li> <li>身近なすがたをかえる食べ物について興味をもって考えようとしている。</li> <li>単元の最後に自分で選んだ食材について説明文を書くことを知り、興味を持って取り組もうとしている。</li> <li>意味の分からない語句について、国語辞典で調べている。</li> </ul>	ノート 発言 行動
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>全文を読み、「炒る」「煮る」「ひく」といった動詞の意味を考え、実際にやってみる。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>表現力</b></p>	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>「炒る」「煮る」「ひく」等といった行動の意味を理解している。</li> </ul>	ワークシート
第2次	3・4	<ul style="list-style-type: none"> <li>段落分けを確かめ、文章全体の組み立てを捉える。</li> <li>「はじめ」に書かれていない「問い」を考え、作る。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>課題発見・解決力</b></p>		◎			<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文を「初め」「中」「終わり」の大きく3つに分け、それぞれの部分のおおまかな内容と役割を捉える事が出来ている。</li> <li>「おいしく食べる工夫」を質問する「問い」を考えることができる。</li> </ul>	ノート 発表 行動

第 3 次	5 (本時)	「中」の段落の内容を読み取り、説明のしかたの工夫を見付ける。 <b>課題発見・解決能力</b>		◎		・段落の中心となる文を捉えている。 ・文章中の表現や言葉に注目し、説明の順序について考えている。	ノート 発表
	6	「終わり」を読み、多くの食べ方が考えられた理由をまとめる。 <b>課題発見・解決力</b>		◎		・「終わり」を読み、多くの食べ方が考えられた理由をまとめている。	ノート 発表
	7	自分が説明したい食べ物について調べ、図や表にまとめる。 <b>チャレンジ精神</b>	◎	○		・書きたい食べ物について進んで調べ、図か表にまとめている。	ワークシート
	8	選んだ食材について調べたことを、「初め」「中」「終わり」の組み立てを考えて、文章構成表としてまとめる。 <b>表現力</b>			◎	・分かりやすい文章になるよう、構成を考えている。	ノート
	9 10 11	・選んだ食材について、事例を上げながら表現を工夫して文章に書く。 ・作品を交流し、分かりやすい表現になっているか意見を交換する。 <b>表現力</b>	○		◎	・文章の組み立てに沿って、分かりやすい文章を書いている。  ・交流したものをもとに、分かりやすい説明の工夫について考えたり、意見を言い合ったりしている。	作品  ノート 行動
	12	選んだ食材について、2年生に説明し、質問に答える。 <b>表現力</b>	◎			・書いたものをもとに、2年生に分かり易く説明しようとしている。また、質問にも答えている。	発表 行動

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・分かり易く伝えるための工夫としての写真の効果を理解する。
- ・中心になる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解する。
- ・事例が提示されている順番にも理由があることを理解する。

### (2) 観点別評価規準

◎段落相互の関係を考えながら、文章中の表現や言葉に注目し、説明の順序について考えることができる。(読む)

(3) 準備物

教：第③～⑦段落の「工夫」をまとめた短冊，写真，  
「いちばん分かりやすいのは」「次に」といった接続詞カード

**【習得している知識・技能等】**

- ・「はじめ」「中」「終わり」
- ・「問い」と「答え」
- ・「中」には具体例が書かれていること
- ・国語辞典の使い方
- ・絵や写真を使って説明する効果

**本時の学習を通して育てたい力**

- 文章中の表現や言葉に注目し、第③～⑦段落相互の関係を考えることができる。
- 相手に分かり易く表現するための、順序の工夫について考えることができる。

(4) 学習の展開

過程	学習活動 主な発問 (◎) と予想される 児童の反応 (・)	指導上の留意事項 (・) と「努力を要する」状況と判断した児童への支援 (●)	評価規準 (評価方法)
つかむ	<p>1 本時は本文から、自分が書く際に参考となるよう、説明の内容と書き方の工夫を考えていくことを確かめ、課題を設定する。</p> <p>2 本時の課題意識をもち、めあてを設定する。</p>	<p>・前時で考えた文章の組み立てを振り返り、本時は「中」を詳しく読んでいくことを確認する。</p>	
自分が説明するために、「中」の書き方のひみつを調べよう。			
課題解決	<p>3 「中」の③～⑦段落を読んで、大豆をおいしく食べる工夫の具体例を書き出す。</p> <p>◎「中」には何が書かれていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おいしく食べる工夫」です。</li> <li>・「煮豆」や「きなこ」のことが書いてあります。</li> <li>・例えば、④段落なら、「こなにひいて食べる工夫」が書いてあります。</li> </ul> <p>◎他の段落には何が書いてあるのでしょうか。書き出してみましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・③⇒大豆をその形のままいたり、したりして柔らかく、おいしくする工夫 (豆まきに使う豆、に豆)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各段落に「おいしく食べる工夫」と「食品の具体例」が順に書かれていることを確かめる。</li> <li>・必要に応じて、③・④段落の「おいしく食べる工夫」と「食品」を全体で確かめる。</li> <li>・児童が発表した順に、黒板に「～の工夫」と短い言葉でまとめた短冊と、写真を貼っていく。</li> </ul>	<p>段落の中心となる文を捉えている。(読む)</p> <p>ワークシート</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑤⇒大切な栄養だけを取り出して、ちがう食品にする工夫（豆腐）</li> <li>・⑥⇒目に見えない小さな生物の力を借りて違う食品にする工夫（納豆・味噌・醤油）</li> <li>・⑦⇒取り入れる時期や育て方の工夫（えだ豆・もやし）</li> </ul> <p>4 ③～⑦段落の書き方について、筆者の「説明の工夫」について考える。</p> <p>◎筆者はなぜ、この順番で説明したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆だと形の分かりやすいものから説明している。</li> <li>・体を動かしてみると、「炒る」は1つの動作だけだけど、「炒って粉にする」は2つの動作になって複雑になるから。</li> <li>・③段落の最初に「1番分かりやすいのは」と書いてあるので、工夫が簡単なものから説明していると思います。</li> <li>・いきなり小さな生物の力を借りる工夫の話になると難しいので、粉にするとか、炒るとか、分かりやすいものから説明していると思います。</li> </ul> <p>5 まとめ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者は、見て大豆だと分かりやすいものから順番に説明している。</li> <li>・筆者は、作り方が簡単なものから説明している。</li> <li>・順番にも、筆者の説明の工夫がある。</li> <li>・筆者は、「おいしく食べる工夫」と、その具体的な食品の名前を書いている。</li> </ul> <p>6 ふりかえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の中で、大事な文を、「中心文」ということを確認する。</li> <li>・わざと順序を変えて貼り、教科書と比較して、「筆者がなぜその順序で並べたのか」という順序性について考えられるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的な手掛かりとなるように、写真も掲示する。</li> <li>・一段落で「大豆はいろいろな食品に姿をかえていることが多いので気づかれないのです。」と筆者が述べていたことにも着目させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各段落をつなぐ、 <ul style="list-style-type: none"> <li>③「いちばん分かりやすいのは」</li> <li>④「次に」</li> <li>⑤「また」</li> <li>⑥「さらに」</li> <li>⑦「これらのほかに」</li> </ul> </li> <li>という接続詞にも目を向けさせる。</li> </ul>	<p>文章中の表現や言葉に注目し、説明の順序について考えている。</p> <p>（読む）</p> <p>ノート</p> <p>発言</p>
--	--	--	---

